

申請大学：札幌医科大学

事業名：病院経営改革・収益力強化事業～Project Resilience：機能強化が繋ぐ次世代育成と地域医療の活力～

○事業概要：札幌医科大学附属病院改革プランに基づき、本事業では生体情報管理システム及び手術用顕微鏡の整備並びに医療スタッフの増員を行い、タスクシフト／シェアをさらに進めることにより、高度急性期医療の質・教育・研究力を高め、働き方改革と経営の安定化、地域連携の強化を図る。

## 教育・研究・診療の好循環を生む病院運営の構造転換

病院運営を支える3つのアクション

経営の構造改革



データ連動型の経営と手術室稼働率の向上

診療・教育・研究の高度化



30名以上の医療スタッフ採用を通じたタスクシフト推進と教育研究時間の確保

戦略的投資



医療機器整備計画に基づく高度急性期医療の維持・強化に向けた重点投資

技術と人材が創る「価値」の好循環

最新機器による教育・診療の質向上



4K/3D顕微鏡や最新の生体情報システム導入により高度な手術の可視化と医療安全を強化

実践的な医療人養成の加速



CC-EPOC集約、推奨医行為経験率95%を目指し即応力のある医師を地域に輩出

北海道内3医大 x 行政の共創



地域医療の最適化と持続可能な提供体制の構築



臨床実習  
推奨医行為  
経験率

新規  
臨床研究  
支援件数

年間  
手術件数

病床  
稼働率



R7目標→R11目標

70→95%

150→220件

7700→7900件

83.9→87.8%